

# ちゅんちゅん新聞

5月13日

土曜日

## こどもデザイン室展 2023年

3月15日～19日に、清須市はるひ美術館で「こどもデザイン室」の展覧会が開催されました。

展覧会では、こどもデザイン室に通っている子どもたちの作った立体作品や絵画、版画、オートマタ作品などが展示されていました。また、奥の部屋ではサマーキャンプなどの映像も放映されていました。

展覧会に出す作品は、こどもデザイン室で一年間に作った作品の中から、立体作品と平面作品を1つずつ選びます。私も選びました。

私が気に入った、他の人の作品は、「緑」という作品です。緑と言っても、色々な緑があって、少し茶色が入っているところも良かったです。作品の中に森のトンネルが広がっているような感じがしました。



展覧会の様子

オートマタとは、ハンドルを手で回すと箱の上にある人形やかざりが動くカラクリです。ただ動くだけではなく、野菜を切る動きになったり、野球のバットがボールに当たったり、ポップコーンがはじける動きになったりと、どれも面白い動きになっていて、「なるほど」と思いました。



2階にはワークショップがあり、オートマタを作る体験ができました。私は、ユラユラと揺れる動きを利用して、ビルの地震で揺れる様子を作りました。でも、高いビルにしたせいで、重くなり、ハンドルを動かしてもすぐに倒れてしまって、なかなか上手に動きませんでした。そこで、少し高さを低くするなど、試行錯誤をして、動くようにしました。

一方、弟(ごっごちゃん)は木から梅がピョンと出てくる様子を作りました。軽かったので、きれいに動きました。ごっごちゃんは家に帰ってからも、楽しそうにくるくとハンドルを回して遊んでいました。

展覧会には、個人の作品だけでなく、みんなで作った作品も4点ほど飾られています。次のページにある歯車がたくさん組み合わせあって並んでいる作品も、その一つです。この作品は、歯車についているハンドルを回すと、動きます。

右の作品は、裏の板が黒色になっていることで、歯車のカラフルな色が目立って、きれいだと思います。  
また、よく見ると、大きい歯車よりも、小さい歯車の回転速度の方が速くなっていました。



### ちゅんちゅんです！

私はこの新聞を書いている、ちゅんちゅんです。

展覧会に飾る作品に、私は「笑う獅子」という題名の獅子舞の絵と「モノクロタワー」という題名の積み木のオブジェをえらびました。「笑う獅子」は、私が今までに作ったどの作品よりも自信作です。我ながら本物そっくりに描けたと思います。

眉毛の上の辺りは、つるつるしていて、歯の部分は、色がはげてざらざらしている感じを描くことができました。背景は、白に見えますが、実は少し肌色に近い色にしてあります。なぜなら、獅子舞は、和風な感じなので、障子の紙のような色にしたのです。



# 卵が値上がり

最近、スーパーなどで卵が値上がりしています。その理由は卵不足です。では、なぜ卵不足になってしまったのでしょうか。

## 理由①. エサの値上がり

スーパーなどによく売っている手のひらサイズの卵は、ニワトリの卵です。卵にはタンパク質やビタミン、ミネラルなどの栄養素が豊富にふくまれています。また、親のニワトリが食べたエサは、生んだ卵の成分に影響します。そのため、ニワトリのエサにはとうもろこしや大豆、カルシウム成分が入ったエサなどを使っています。エサ用のとうもろこしのほとんどは、アメリカやブラジルから輸入されています。しかし、輸入しているエサの値段がここ数年は上がり、十分な利益が期待できないため、一部で採卵鶏を減らす動きがありました。親鳥の数が減る分、卵が不足してしまうのです。

## 理由②. 鳥インフルエンザ

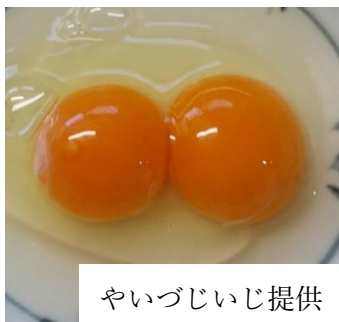
鳥インフルエンザは、自然界では比較的無害ですが、何万羽ものニワトリが密集している養鶏場で次々と感染をくり返すと、「高病原性」という、感染力が強く、死にいたるほど危険なものに変化してしまう場合があります。この高病原性が、万が一他の養鶏場のニワトリや人に感染するのを防ぐため、感染が見つかった養鶏場にいるニワトリたちは全て処分しなければならないと、法律で決まっています。建物内は消毒され、半径10キロ以内の人や物の持ち出しが制限されます。たくさんのニワトリが一斉に処分され、いなくなれば、一気に卵の生産量が減ります。



「朝日小学生新聞」2023年4月11日より

## 黄身が二つ入っている卵「二黄卵」

「二黄卵」とはひとつの卵に二つの黄身が入っているものです。主に、若い親鳥の産み始めに起こる現象で、体の中で卵の素が



やいづじいじ提供

二つ分、出てくるそうです。普通の卵よりも、少し大きめで、スーパーに売っている卵の中でもまれに見つかります。卵の大きさは、普通の卵と同じくらいです。



やいづじいじ提供

もし私がそれを見つけたら、「ラッキー！やった！」と思います。なかなか見つからないし、黄身が二つあると得をした気分になるからです。

## 値上げ以外にも影響が・・・

スーパーなどでは、値上げ以外にも、「1人1パックまで」、「特売をやめる」などの動きもある。

また、中には卵を使った料理を少しの間やめた飲食店もあった。

卵の値段が落ち着くには長くて1年以上かかるかもしれない、ということだ。

「朝日小学生新聞」2023年4月11日より

紹介します！

～オススメの本～

今回のオススメの本は

## 「猫君」(富中恵)

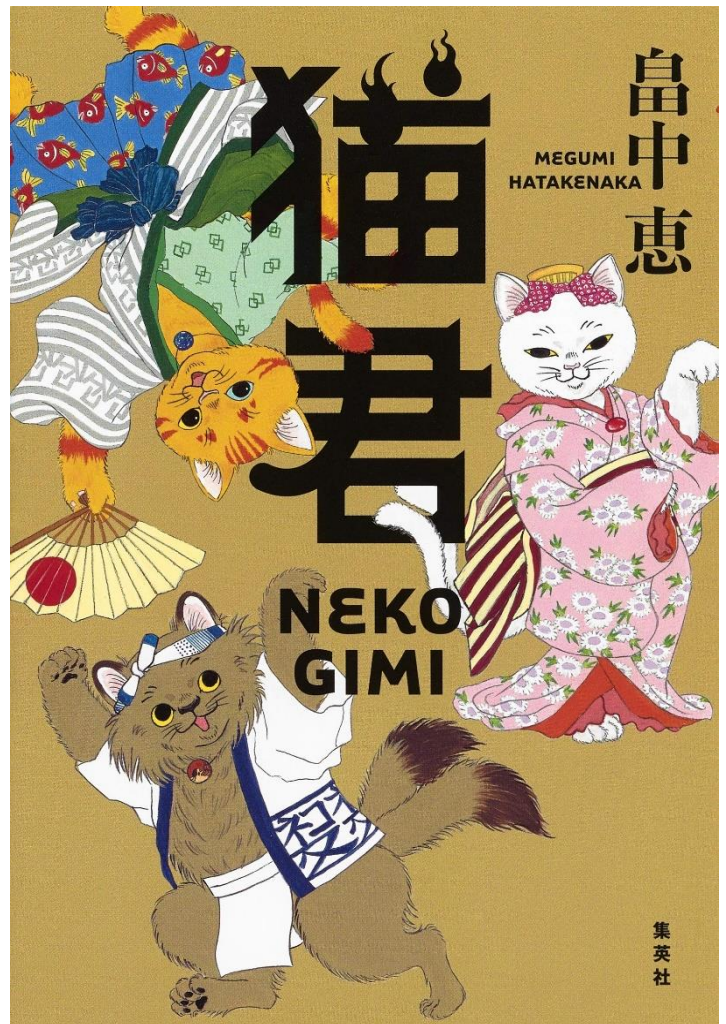
私は「猫君」の作者、富中恵さんが書いた「しゃばけ」という本を読んだことがあります。猫君を読みはじめたきっかけは、「しゃばけ」をよんでみて、とても面白かったからです。

もうすぐ20歳になる、茶虎で金目銀目の猫「みかん」は、病に伏せる育ての親から「おまえさんは『猫又』になりかかっている」と告げられました。

しかしその後、みかんが猫又になる前に、育ての親に先立たれてしまいました。

みかんと猫又の仲間たちがくりひろげるファンタジー小説です。

最初は「猫の妖怪のおはなし」、「富中恵さんが書いた小説」ということで、何だか興味が出てきて読みはじめたのですが、いつの間にかなんだかすごく楽しくなってきた、熱中してしまいました。猫又たちのしゃべり方や生活もとても面白かったです。



## 静岡県の山でたけのこ掘り

4月の中旬頃、私の祖父母と一緒に、静岡県の山でたけのこ掘りをしました。祖父母は「今年はたけのこが少ない」と言っていましたが、私にとっては、十分な量でした。

たけのこは竹と「地下茎」という根っこのような茎で繋がっています。だから、竹がたくさん生えている場所や、竹と竹の間を探しました。

たけのこを掘るには、まず土をたけのこの下の方まで掘ります。そして、たけのこの下をくわで叩き、たけのこを採ります。たくさん掘ると、地下茎が見えました。また、色や形は「たけのこ」だけれど、とても大きくなっていて、私の背丈よりも高いたけのこも見つけました。

